

2月の星空情報

2024年 2月 1日
発行 黒石すばるの会
<http://subaru9614.dip.jp/>

最近の天文のニュースや話題から(2月)

◎板垣さんの超新星発見!

今年二ヶ月、通算一七八個目!

山形の板垣公一さんは、一月十二日にきりん座の銀河に超新星を発見しました。これで今年二つ目の発見です。超新星の発見といえば相当難しい!「そう思うのが普通」ですが、なんと稲垣さんは、これまでに一七八個もの超新星を発見、超新星ハンターの第一人者として知られています。

彼は「超新星とは、きのう見えなかったのに突然、星が爆発して見え出す現象なんです。だからアマチュアでも発見できます。それを見つけるのが楽しみです、やめられないんです。」とそのおもしろさを語っています。(日本にもこんなすごい人がいます。)

右は山形の望遠鏡。この他に岡山と高知にも観測所があり、それらを30台のパソコンを使って山形から遠隔操作し観測している(下の写真)とのことです。

下は今回発見した超新星の写真。



☆今月のおもな天文現象

◎2月15日：宵のころ 西の空で木星と月が接近!

木星(-2.3等)はおひつじ座にあり大変目立ちます。その木星に月齢5.5の欠けた月が接近します。20時頃には、西の岩木山の上にかかり晴れば、大変きれいな風景になるでしょう。なお、月は16日にはおうし座のプレアデス星団(すばる星団)に近づきます。15日、16日と連続して観察すると月の動きがよくわかるでしょう。

◎2月23日：朝方 金星と火星が接近して昇る!

夜明け直前(午前5時30分~6時ころ)に東南東の地平線から昇ります。空が明るくなり始めていますが、-3.9等と金星は明るいので、わかると思います。金星のすぐ近く(向かって右下)に1.3等の赤い火星があるはず。観察するには、家の二階からでも良いので、東の地平線まで見渡せる場所をあらかじめ探しおきましょう。

◎2月24日：1年で最も小さな満月(ミニマムムーン)!

この日の満月は1年のうちで見かけの大きさが最も小さい(地球から遠くにある)満月です。月が地球を回る軌道は楕円なので、同じ満月でも大きく見えたり、小さく見えたりするのです。

今年一番大きく見える満月は10月17日です。どうか考えて、見かけの大きさを測って較べて見てください。うまく観察できたら、良い自由研究になるのではないのでしょうか?



【月の見かけの大きさの比較】

